

十二単は、源氏物語絵巻などでおなじみの、平安貴族の女性の正装である。

さとやま公園の西端の円形広場から、金程富士見町会に向かう階段をのぼり、二又の交差点の土手に群生して咲いている。

十二単の名は、階段状についた花の穂の形をそれに見立てたと思うが、花自体はそれほどにあでやかなものではなく、全体に毛がいつぱい生え、茎の先に約5cm程の花穂を立て、淡紫色の唇形の小花を密につけているので、葉や茎は白っぽい緑色(灰緑色)となりがけろうを思わせます。

咲いているのは。さとやま公園のほか、ふるさと緑地、おやしる公園にも群生している。

5月いつぱいは咲いているので、是非さがしてみてください。

花丈は10〜20センチメートル・4月〜6月が花期。

